

「雄志」78号

衆議院議員

谷田川
はじめ



立憲民主党千葉県第10区総支部 谷田川はじめ後援会事務所

〒287-0001 千葉県香取市佐原口 2164-2

TEL 0478-54-5678 FAX 0478-52-6991

Mail:info@hajime-yatagawa.com

HP:www.hajime.yatagawa.com



国会事務所

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-2-1

衆議院第一議員会館 1208 号室

TEL 03-3508-7292 FAX 03-3508-3502

またもや解散風を吹かす岸田政権

低迷している内閣支持率を引き上げ、来年秋の自民党総裁選を有利に運びたい。そうした思惑で、岸田総理は9月13日に自民党役員人事と内閣改造を行いました。史上最多の5人の女性閣僚を登用し注目を浴びたものの、その後、副大臣・政務官人事では、女性起用はゼロとなり、女性活躍社会を目指そうとする岸田政権は、本気度が足りないことが明らかになりました。ここに来て各方面から、岸田総理は本気で何をやりたいか分からないとの声が多く聞かれるようになりました。こういった要因も相まって、岸田内閣の改造後の支持率は、ほぼ横這いで推移し、岸田総理の目論見が外れる結果となっています。しかしながら、岸田さんは、総理大臣の地位にできるだけ長く就いていたいとの執念はかなり強そうです。

まず、来年の自民党総裁選でライバルになりそうな高市、河野の両名を閣内に引き続き取り込み、茂木幹事長も留任させる等、無投票再選を目指しているように思われます。そして、それをさらに裏打ちするため、総裁選前に自らの手で衆院解散を行なって勝利し、直近の選挙で国民から信任を受けた総理大臣を再選させないのをおかしいとの大義を得るため、その可能性を諦めずに追求しているように見えます。

それを象徴するのが、新たに総務会長に就任した森山裕氏の発言です。9月24日のNH

K日曜討論で、「選挙制度が変わったことも一つの「大義」と語り、小選挙区「10増10減」で区割り改定されたことも解散の理由になることを述べました。さらには、10月1日の北海道北見市の講演で、岸田内閣が新たな経済対策で減税を検討していることに触れ、「税に関することは、国民の審判を仰がなければならぬ」と語っています。これらの発言は、岸田総理と十分なコミュニケーションを取ったうえで、観測気球をあげていると私は受け止めています。

10月22日に長崎4区と徳島・高知で衆参の補欠選挙が実施されますが、その結果や、その前後に自民党独自に実施する小選挙区ごとの情勢調査等を踏まえ、年内に解散に踏み切るか判断するものと思われます。そうなる最短で11月14日公示、26日投票日の可能性も捨て切れなさと感じていきます。

現在、私は立憲民主党衆議院解散の制限検討ワーキングチームの座長として、衆院を解散する場合は、その理由を国会に説明し、それを審議することを義務付ける法案の臨時国会への提出を準備しておりますが、その趣旨からも岸田総理が解散しようとした際には、その理由をしっかりと説明するよう強く要求していく所存です。皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

令和五年十月

谷田川はじめ

区で実施! 農水産業の現場の声を国政へ!

9月27日(水)に田名部匡代参議院議員(青森選挙区)を団長とする立憲民主党農林水産キャラバンが谷田川はじめの選挙区である、銚子市、旭市、匝瑳市を訪問。当日は郡司彰前参院副議長も参加し、谷田川はじめとそのスタッフ、党本部職員も加わり総勢8名での視察となりました。

銚子漁港市場を視察

まず最初に足を運んだのが銚子漁港。丁度、金目鯛等が水揚げされた時間帯と重なり、市場の活気溢れる現場を見ることができました。その後、間もなく稼働予定の新市場を視察。スマートフォンで電子入札ができる仕様にしたとのこと。これにより大幅な時間短縮が期待されます。

漁協幹部と意見交換

銚子漁協の会議室にて意見交換を実施。ALPS処理水放出による直接的風評被害は今のところ受けていないものの、中国が日本産水産物を全面



一番大きな金目鯛を手にする谷田川はじめ

禁輸したことによる影響が心配されること。また重油高騰による基金が作られているが、申請書類の量が多くて煩雑なので簡素なフォーマットにして欲しいとの要望。さらに人手不足であり、外国人労働者の受入れに関して弾力的な運用を求めたいとのことでした。

JAちばみどりを訪問

谷田川はじめが今から10年程前にJAちばみどりの要請を受け、農水省に働きかけた結果、約6億円の補助金が付いたことで完成したフレッシュダ

リーン(農産物選果施設)を視察。その後JAちばみどり本店会議室に場所を移し、農協幹部と意見交換を行いました。

①農水省の補助は使い勝手がよくないものがあるので弾力的な運用をして欲しい。②価格安定事業の継続とそれが無い作物については収入保険事業で対応願いたい。③飼料米専用品種の種子が不足しているなかで、飼料米の作付けを無理に拡大しようとするとう主食用米の価格下落を招く恐れがある。④旭市でも後継者がいない農家



JAちばみどりのみなさんと

立憲民主党農林水産キャラバンを千葉10

が増えている等の要望や意見が出されました。

畜産業者や酪農家との意見交換

三番目の訪問先は千葉県食肉公社（旭市）。まず食肉公社側から電気代の高騰により昨年度は赤字決算となり、今年も赤字が見込まれるため、電気代高騰対策を強化して欲しいとの要望がありました。

畜産関係者からは①牛由来肥料の牧草地等への施用ができるようBS



千葉県食肉公社での意見交換会 左から
郡司彰前参院副議長、谷田川はじめ、
田名部匡代参院議員

E肥料規制を緩和して欲しい。②上昇しているコストを価格に転嫁できる

仕組みを講じてもらいたい等の要望がありました。また酪農関係者から①配合飼料高騰対策を充実して欲しい。②子牛価格の下落により経営が厳しい酪農家への公庫による融資の弾力的対応をお願いしたい等の要請がありました。

栄宮農組合（匝瑳市）を訪問

最後に栄宮農組合まで足を運び、ライスセンター乾燥調製施設を視察。その後米農家と意見交換。①米の生産費、所得を補償する政策を講じて欲しい。②農業後継者を増やす政策を講じて欲しい。③多面的支払交付金を使い勝手のよい制度に改善して欲しい等様々な意見が出されました。

今回の農林水産キャラバンは一日で、銚子市、旭市、匝瑳市にまたがる4団体を駆け足で訪問し、貴重な現地現場の声を聴取することができました。

この声を国政に反映させるべく精一杯頑張つて参ります。



ライスセンター乾燥調製施設について説明を受ける



米農家と意見交換

谷田川はじめの活動の様様をこちらのQRコードからご覧いただけます。



「出前立憲民主党」を実施！ 5市3町を訪問

8月9日、出前立憲民主党の活動を行いました。千葉10区内の各市町役場に足を運び、国政や県政に関する要望を谷田川はじめが直接聴取しました。

各自治体の要望実現に向け、粘り強く関係省庁に働きかけて参ります。



旭市：銚子連絡道路の整備促進等について



成田市：成田空港の更なる機能強化等について



銚子市：地域手当の見直し、学校給食費の無償化等について



多古町：地方経済の下支え・商工農業者支援制度等について



東庄町：介護医療院転換の財政支援・飼料用米交付単価維持等



横芝光町：成田空港への直結道路・栗山川関連等について



香取市：母子保健・児童福祉一体的相談支援機関整備事業等



匝瑳市：子ども医療費助成制度の拡充等について

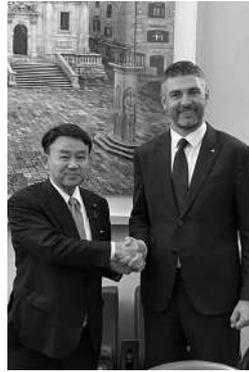


8月31日 自治体の要望をふまえ、小西参院議員と谷田川が関係省庁と協議

国土交通委員会の調査団として、クロアチア・エジプト・インドを訪問

7月17日から26日の日程で衆議院国土交通委員会の調査団の一員として、クロアチア、エジプト、インドを訪問。機中泊を3回も行うなど、かなりの強行日程で、3ヶ国を視察しました。

18日にクロアチアに到着。翌19日にドブロブニク市長と面会し、観光政策に関して意見交換しました。同市旧市街の町並みは、アドリア海の真珠と言われる程美しく、世界遺産に指定されています。いかに古い町並みを守っていくか？地元佐原の課題と大いに重なり、とても参考になりました。



ドブロブニク市長と
谷田川はじめ

20日は同国で2番目に人口の多い（40万人）スプリット市圏を訪れ、クロアチア沿岸警備隊とスプリット大学海事学部を視察しました。海洋国家として様々な課題があるなか、両国の協力関係を発展させることの重要性を認識しました。



クロアチア沿岸警備隊
を訪問

21日早朝にカイロに到着。午後から日本大使公邸で岡大使から最近のエジプト事情についてレクを受けた後、ピラミッドと正式オープン前の大エジプト博物館を視察。同博物館に円借款による支援を日本は行なっています。エジプトのインバウンドは千五百万人程度。これを倍増させるのが当面の目標だそうです。22日は、まずスエズ運河庁を訪問。説明を受けた後、船に乗って実際運河を通行。



スエズ運河庁を訪問



カイロ新首都を視察

エジプト政府は、カイロの首都行政機能を約60km離れた郊外に移し、新しい街をおよそ25年計画で作ろうとしています。その現場を視察。すでに議会や官庁の建物が完成しており、スムーズに移転されること期待されます。

23日にインドのデリーに到着。その晩は、鈴木大使から夕食を取りながら、最近の日印関係を中心にレクを受け、モディ首相が

日本に大変友好的である今が、日本にとって大きなチャンスであることを力説されていました。

翌24日は、デリー首都圏で2ヶ所目となるノイダ国際空港の工事現場を視察。同空港は、来年9月に開業予定とのことですが、現場はまだ雑然とした状況で、予定通り開業できるのか質問したところ、予定通りできると強気の回答でした。土地買収もスムーズに進んでいるとのこと、日本では考えられないスピードで進捗するようです。

デリーでは、インド政府関係者と意見交換する機会に恵まれましたが、やはり人口

で中国を抜いて世界一になったことで、インド人の皆さんの鼻息が荒く、強い自信を感じました。人手不足が深刻な日本にとって優秀なインド人をいかに呼び込むかが重要であることを実感しました。

この10日間の海外調査はとてもよい経験となりました。その成果をこれからの委員会審議等ですっかり活かして参ります。



インドの道路交通省を訪問

「衆議院解散手続き法(仮称)」を臨時国会で提出へ!



8/22 立憲民主党衆議院解散の制限検討ワーキングチームの様子。正面左が座長の谷田川はじめ。右は、講師の大山礼子駒澤大学法学部教授。

谷田川はじめが座長に就任した立憲民主党衆議院解散の制限検討ワーキングチーム(WT)の第1回目の勉強会を8月22日に開催。大山礼子駒沢大学教授を講師に迎え、活発な意見交換を行いました。大山教授は、フランス・ドイツ・イギリスと比較し、日本では頻繁に解散が繰り返され、内閣に有利な時期をねらって解散をすることは、選挙の公正性が阻害され、長期的視野にたった政策を実現できない弊害が生じていると指摘し、強い危機感を示しました。

9月1日の第2回目は、片山善博元総務大臣・大正大学教授をお迎えしました。安倍政権が行った憲法7条を根拠にした衆議院解散について「いくら何でもひど過ぎる」と厳しく批判。衆議院が「国権の最高機関の中でも優位性を保っている国民の代表機関」であり、その構成員である全衆議院議員の身分を失わせる解散を特段の根拠もなく行うことは、決して憲法は認めていないと断言されました。

9月26日の第3回目は、憲法学者の木村草太東京都立大教授が講師を務めました。69条以外にどのような場合に解散できるか



座長として挨拶する谷田川はじめ。右は、講師の片山善博大正大学教授。同氏は、鳥取県知事と総務大臣を歴任。

に関して、学説は①内閣と衆議院が重大な対立をしたとき②連立の組み替えなど政権の性格が変わったとき③国民の意思を問うべき新たな課題が生じたとき④選挙法の大改正があったとき――などを挙げているとしました。

WTが検討している法案では、内閣が衆議院を解散しようとするときは10日前までにその理由を国会に通知、本会議だけでなく一問一答が可能な委員会での国会審議を義務付けます。いわば解散の手続きを定めた法案です。木村教授は「この法案は、解散について国民の理解を深めるもので、憲法理念を実現するもの」だとし、解散理由の説明が国会の議事録に残る価値は高いと法案の意義を強調しました。WTでは、臨時国会にこの法案を提出すべく、党内手続等の準備を進めて参ります。



挨拶する谷田川はじめ。右は憲法学者の木村草太 東京都立大学法学部教授



はじめの活動写真



7/14(金) 銚子連絡道路整備促進地区大会が東総文化会館で行われ、挨拶をしました。



7/14(金) 千葉県税理士政治連盟で国会報告。来年の秋の紙の保険証の廃止を撤回すべきと主張。



8/8(火) 肥料や農薬を使わない自然農法に取り組んでいる香取市在住の小堀真市氏の田んぼを視察。食味も最高。



8/17(木) 朝6時からの香取市倫理法人会モーニングセミナーにて、会員スピーチ。



8/20(日) 国家百年の会に出席。学生(東京立正高校)からエネルギー・少子化・憲法9条問題等の質問に対して政治家が答えるという形式で実施されました。



9/18(月) 徳島・高知選挙区から参議院補欠選挙に立候補予定の広田はじめさんの応援で吉野川市を遊説。



10/1(日) 香取市のみずほ台の秋祭りに参加。「同団地ができて40年以上が経過。人口が減少するなかで、今求められているのは地域の団結力です。」と挨拶しました。

国会が閉会中のため、谷田川はじめは、積極的に駅頭での活動を行っています。姿を見かけたら是非声をかけて下さい。



9/5 成田駅西口 5:45~8:45



9/6 佐原駅 5:40~8:10



9/7 下総神崎駅 5:50~8:20



9/11 小見川駅 6:00~7:50



9/12 宗吾参道駅 6:00~8:20



9/13 八日市場駅 5:50~8:10



9/15 旭駅 5:55~8:10



9/20 銚子駅 5:50~7:45



9/25 公津の杜駅 5:45~8:45



9/26 京成成田駅 6:00~8:30



9/28 干潟駅 5:50~8:00

野田佳彦元総理を迎え 銚子で国政報告会を実施

7月15日(土)に銚子市民センターで野田元総理をお迎えし、国政報告会を開催。10分程度の谷田川はじめの国会質疑(①洋上風力発電について②地域手当について③決算審査のあり方について④マイナ保険証の問題について)の様子を動画で紹介しました。

その後、谷田川はじめより、衆議院解散を制限する立法措置が必要なこと等を報告。野田元総理からは、委員会質疑で答弁に対して、さらに問う姿勢が素晴らしいと高い評価を頂きました。

今後とも地元から日本を良くするを政治信条として精一杯活動して参ります。尚、国政報告会開催にあたり関係者の皆様に十分ご連絡できなかったことを心よりお詫び申し上げます。



国政報告を行う谷田川はじめ



会場の様子(銚子市民センター)



熱弁をふるう野田佳彦元総理

ポスター掲示等ご協力のお願い



左記のポスターを是非とも、ご自宅の壁や塀に貼らせていただきたく、お願い申し上げます。

なお、ご協力いただける方は、谷田川はじめ事務所まで連絡をお願いします。☎0478-52-5678

谷田川はじめプロフィール

1963年1月17日香取市佐原生まれ
 千葉県立佐原高校、早稲田大学政治経済学部卒業
 松下政経塾出身(在塾中、米国連邦下院議員政策スタッフを経験)
 千葉県議会議員4期
 衆議院議員3期
 現在 国土交通委員会、決算行政監視委員会、憲法審査会に所属
 立憲民主党千葉県連選対委員長、千葉県ハンドボール協会会長

●後援会ニュース「雄志」定期購読会員募集

谷田川はじめと支援者を結ぶ機関紙「雄志」を年4回発行しています。あなたのご意見を反映します。

年会費一口2,000円(何口でも可)

購読料のお振込先

郵便振替口座 00110-9-390288「谷田川元後援会」

冠婚葬祭等の情報がありましたら、谷田川事務所までご連絡下さい。

メッセージの手配をさせて頂くとともに、日程調整がつけば、谷田川はじめが伺います。

千葉県第10区在住のお知り合いの方をご紹介ください。



ご連絡お待ちしております

TEL 0478-54-5678
FAX 0478-52-6991